

# 令和元年度第1回出雲市入札制度等監視委員会

## 議事概要

開催日及び場所	令和元年5月30日(木) 10時00分～11時30分 出雲市役所5階 入札室	
委員	委員長 河原 莊一郎 (松江工業高等専門学校環境・建設工学科教授) 委員 朝田 良作 (島根大学山陰法実務教育研究センター長) 黒目 光正 (出雲市自治会連合会副会長) 藤原 美恵 (税理士) 山本 樹 (弁護士)	
審議対象期間	平成30年10月1日～平成31年3月31日	
報告事項	(1) 入札方式別発注工事の状況について (2) 指名停止の運用状況について (3) 低入札価格調査制度の運用状況について (4) 苦情処理の運用状況について (5) その他	
審議事項	抽出案件(3件)	備考 (抽出の考え方) 抽出担当:黒目委員
	一般競争入札(通常型)	1. 旧神西清掃工場解体工事 一般競争入札(通常型)2件のうち、設計額が高く、落札率が低かったため。
	一般競争入札(簡易型)	2. 八千代橋橋梁修繕工事 一般競争入札(簡易型)のうち、落札率が低かったため。
	一般競争入札(簡易型)	3. 日御碕ビジターセンター改修建築工事 一般競争入札(簡易型)のうち、応札者が1者のみであったため。
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

<b>【報告事項について】</b>	
(1) 入札方式別発注工事の状況について	
(2) 指名停止の運用状況について	
(3) 低入札価格調査制度の運用状況について	
(4) 苦情処理の運用状況について	
(5) その他	
意見・質問	回 答
(1) 入札方式別発注工事の状況について	
① 随意契約で落札率100%のものの理由は何か？	① 特殊な工事で、実績のある業者にしか依頼できなかったものや、災害復旧工事などの緊急を要したもの、入札者がいなかったために随意契約を行ったためであり、競争性が働かなかったと考えられる。
② 解体工事の平成30年度の落札率が大幅に下がっている要因は？ また、落札率が低くても問題はないのか？	② 解体工事が3件しかなく、その中の最も高額な工事の落札率が低かったため。 また、解体工事は、成果物を求めるものではなく、過去の施工実績を見ても落札率と工事成績は関連性がない。
③ 解体工事の落札率は年度により、波がある。解体工事の処理料金に変動があるためでは？	③ 自社で機械や処分場を持っているところもあり、安くできるところもある。 また、石綿などの問題もあり、解体工事費は建物の性質による影響もある。
(5) その他 出雲市入札制度等監視委員会設置要綱の改正について	
① これまで公営企業の工事が報告や審議の対象となっていなかったのはなぜか？	① 公営企業の工事の発注者は市長ではなく、公営企業管理者であり、発注者が異なるため対象外としていた。 しかしながら、今年度から公営企業として発注する下水道事業の工事を除くと、額としては20億くらい減り、対象範囲が狭くなってしまう。全体を見るために、公営企業が発注する工事も対象とした。

**【審議事項について】**

**1. 旧神西清掃工場解体工事**

意見・質問	回 答
① 応札した4者の金額にばらつきがあるがなぜか？	① 通常は細かな仕様を積み上げて発注する「仕様発注方式」だが、この工事は特殊施設であるため、細かな仕様は設けず、手法やプロセスを受注者が決める「性能発注方式」を採用した。 この方式は同類の工事によく使われる発注方式であり、民間企業の創意工夫が出やすいものである。 清掃工場という施設の性質上、ただ壊せば良いのではなく、環境問題の関わりもあり、民間企業のノウハウが必要である。
② 環境問題に関して、何かチェックをしているのか？	② 仕様書の中に、大気汚染防止法など遵守することを条件に入札するよう明記している。
③ それにしても落札者と順位が4位の業者との差が大きい。入札金額の内訳を確認しているのか？	③ 入札時に内訳書を提出してもらっているが、詳細までは分からない。 ただ、この工事は「性能発注方式」であるため、積算においても細かな内訳まで求めていない。入札時に提出してもらった内訳書は概算的な見積りとなっているが、その中に、各企業による細かな内容の積上げが含まれている。

**2. 八千代橋橋梁修繕工事**

意見・質問	回 答
① 落札率が低い要因は？	① 工事費の積算の内訳を設計書と比較すると、直接工事費が95%、共通仮設費が90%、現場管理費が80%、一般管理費が56%となっている。直接工事費の95%というのは一般的であり、他の一般管理費などで経費を抑えたからではないかと考えられる。

3. 日御碕ビジターセンター改修建築工事	
意見・質問	回 答
① 応札者が1者の要因は何が考えられるか？	① 一般競争入札（簡易型）における、平成30年度の建築一式工事の応札者数は平均3者弱で、2者入札の場合も多い。一般競争入札においては、この工事以外にも1者のみが応札した案件が年間5件程度ある。 要因は定かではないが、建築一式工事の場合、応札者が少ない傾向がある。
② 変更契約をした理由は？	② この工事はもともとあった建物を改修する工事であり、既設物に補修が必要なことが、工事の途中で判明したことによるものである。